

第21回かがわ型グリーン・ツーリズム体験モデル企画

「ひまわりと酪農&木工体験でゆったり自然満喫」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記モデル企画が平成28年7月23日(土)まんのう町で開催され、22名の方に参加いただきました。

ひまわり畑は例年よりも花が少し小さめとのことでしたが、一面のひまわりを見ることが出来ました。暑い中でしたが、ひまわり畑の中で思い思いに花をバックに写真をとっていました。



三井牧場では、最初に体験の注意事項があり、えさやりや乳搾りのポイントについて話がありました。また、牛乳の安定生産のためには、乳牛に定期的の子牛を生産(分娩)させること、生まれた子牛のうち雄は肉用牛としてすぐに売ってしまうこと、乳牛も乳が出なくなったらお肉として食べてしまうことなど、人間社会と牛との関わりを話していただき、命をいただくという意味を改めて考えさせられました。

その後、足カバーと手袋、マスクをして、2班に分かれてえさやりと乳しぼりをそれぞれ体験。

乳搾りについては、今日の体験用に朝から機械で絞っていない牛の乳搾りを順番にしたため、勢いよく乳が出て、さらに絞っていない方の乳房からも乳が出て、1日に30Lもの牛乳が生産されるということを目の当たりにしました。

えさやりでは参加者が、わらを牛の口のところまで持っていき、ざらっとした感触の牛の舌に驚いていました。与えたえさをひたすら食べる牛の様子は愛しかったです。

また、バター作りは、ペットボトルに入れた牛乳と生クリームを思いっきり振ることで乳脂肪分と液体部分を分離させて、バターを取り出すものでしたが、残った水分と牛乳の飲み比べや、塩分を加えていない新鮮なバターをクラッカーにつけて食べて、その美味しさに感動する姿も見られました。



お話を三井さん



仲南産直市ではボリューム満点の竹取弁当を食べ、また、充実した地元の特産品や新鮮野菜を購入する姿も多く見られました。

いきいき館ではヒノキの素材のリモコンラックを作成しましたが、あらかじめ板をカットし、釘穴まであけてくれるなど、初心者でも簡単に組み立てられるように下準備がされていて、組み立てやすかったと参加者からも好評でした。いきいき館の施設の使用についての説明と、木の特性や表と裏についても話があり、大変勉強になりました。



ボリューム満点竹取弁当



参加者からは、もっと体験をじっくりしたいという声も聞かれ、まんのう町での体験が、今後の農業の理解と新たな体験へのきっかけ作りになることを期待しています。